令和3年度 農業科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	6単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

農業科目で学んだことを総合的な視点で見つめなおし、実験や実習を通して技術として習得します。今までで学んだことを基に、自ら発見し、分析し、解決する力を身につけていきます。

2 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通じて、総合的な技術を習得し、農業への理解を深める。同時に、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて興味関心を持ち、課題の探究に意欲的に取り組むと共に、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、過大を適切に判断すると共に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身につけている。	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて基礎的な技術を身につけ、農業生物の育成と栽培に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて、生産と技術に関する基礎的な知識を身につけ、野菜生産の特性と栽培のための環境や技術の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表・定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表・定期考査・実技 テスト 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表 定期テストの結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	野菜の種類と生産Ⅰ	○春撒き野菜の生育特性と栽培技術 ①播種・育種 ②移植・栽培管理 ③栽培管理 ④収穫・販売・利用	○			○	a:春夏野菜の生育特性と栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:春撒き野菜の生育特性と栽培について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:春夏野菜の生育特性と栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:春夏野菜の生育特性と栽培について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 定期考査
	食品製造の応用	○春夏野菜利用と加工 ①野菜の保存実習 ②製パン実習	◎	○	◎	○		
2	微生物の利用	○有機質資材を利用した堆肥の製造プロジェクト実習やその利用方法 ○微生物の食品利用と適切な管理		○	○	a 有機質資材を利用した堆肥の製造実習やその利用方法に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:微生物の食品利用と適切な管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 秋冬野菜の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 微生物の食品利用と適切な管理について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 定期考査	
	野菜の種類と生産Ⅱ	○秋冬野菜の生育特性と栽培技術 ①播種・育種 ②定植・栽培管理 ③栽培管理 ④収穫・加工・利用 地域交流 課題設定と栽培計画	○	○	◎			○
3	私たちの暮らしと農業・農村	○野菜の利用および保存方法 ①堆肥の製造と利用 ②安心安全な作物	○	◎	○	◎	a: 野菜の利用および保存方法について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 野菜の利用および保存方法について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 野菜の利用および保存方法について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜の利用および保存方法について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。